

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	・皆で話し合い地域密着型としての理念を作成しました		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	・毎日のミーティングや月に1度のユニット会議の時などに理念を共有し、どう実践に つなげるか話し合っています		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	・家族には入居時に説明し理解してもらっています ・地域の方々には運営推進会議を2ヶ月に1度行い活動内容など報告し理解してもらっています		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	・町内会に加入し行事などに参加しています ・隣のホームセンターには入居者と一緒時々買い物に行っています		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	・町内会の行事(子供みこしや盆踊り)に参加 ・防災訓練の町会の参加 ・町内の方がボランティアで詩吟を教えてください		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	・運営推進会議に町会・民生委員・地域包括支援センターの方々出席して 頂き情報収集をしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に意見箱を設置しています ・意見・苦情があった場合は速やかに職員全員の周知を行ない検討し改善に向けています 		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月月次報告書にて健康状態、日常生活の様子を伝えています ・毎月ゆうゆう通信を発行しています ・家族から金銭預かり時は預かり証にサインを頂き、毎月買い物レシート、病院領収証、出納帳のコピーを家族に送付しています 		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に意見箱を設置しています ・家族の訪問時の要望・意見等はミーティングで反映させています 		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見は都度管理者・施設長に伝えています ・リーダー会議・ユニット会議にて反映させています 		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて職員の人数を増員しています 		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・異動・離職を最小限に抑えるため、職員と定期的に面談する機会を設けています ・全ての職員が全ての利用者の名前と顔を覚えて、馴染みになるようにしています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・本人と家族の意向を十分に聞き、本人の状況に応じて他のサービスの利用も含めた情報を提供しています		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・申し込み後に本人にグループホームを見学してもらったりしています ・細かいことでも家族と連絡をとりあい、慎重に対応しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・本人の思いを理解しその人らしく生活できるよう心がけています		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・家族とは情報を共有し、コミュニケーションを多く持ち、信頼関係を築いていけるよう努めています		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・入居後に家族と本人との関係が変わらないよう情報を共有しています		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・面会・外出・外泊などは自由に行っています ・行きつけの美容院など本人・家族の希望に応じて送迎しています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・気の合う利用者さん同士の交流は、自主性を重んじ見守りしています		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・入院などで退去する場合受け入れ先の病院・施設と十分に連携し、情報を提供しています		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の望む暮らし方を本人から情報を得ています ・意思の疎通が困難な場合は家族から情報を得ています		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・アセスメントと家族からの聞き取りで、これまでの生活歴の把握に努めています		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	・一人ひとりがその人らしく過ごせるよう、プランにそって記録し心身の状態に応じ対応しています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・一人ひとりにそった具体的計画を作成しています ・本人や家族の要望を聞き、職員全員が意見を出し合い介護計画を作成しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> ・期間に応じて見直しを行っています ・現時点での状況と介護計画にずれがないか検討し、本人の状態に合わせ適宜見直しを行っています 		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画に基づき、日々の様子やケアの実践を介護記録とし個別に記入し、職員全員が情報を共有しています 		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族から要望があった場合は対応できる体制はあります 		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議には町会長・民生委員などに参加してもらっています ・詩吟などのボランティアの受け入れしています ・消防・町会と連携した防災訓練を実施しています 		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・家族からの要望はありません 		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当者はありませんが必要に応じて協働していく準備はあります 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前のかかりつけ医からの情報収集を行い、本人・家族の希望により継続して医療を受けられるように支援しています ・受診の際には都度本人・家族の希望により受診先を決めています 		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・協力医療機関としての専門医と連携しており、必要に応じて受診しています 		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員を確保しています ・法人内の看護職員が週3日健康相談に来てくれます 		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院の際には介護添書を記入し、入院後も同じケアが受けられるよう努めています ・回復状況を確認し退院後の生活がスムーズに行えるよう情報収集に努めています 		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居後に本人と家族から終末期に関する意向を聞き覚書を交わしています ・主治医と連携し考えられる症状の変化・治療方針を説明しています 		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期の覚書にそって本人の望む生活で対応しています ・家族と連絡を密にし、主治医の指示のもと本人・家族の希望にそえるよう配慮しています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	・十分に話し合い、情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐようにしたい		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取扱いをしていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアに配慮しています ・言葉かけや対応で誇りやプライバシーを損ねないように気をつけています 		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や言動を観察し、声かけを行い手を出し過ぎず自己決定できるよう努めています 		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な一日の流れはありますが、その人なりのペースに合わせて生活しています 		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類など自分で選んで着ています ・行きつけの美容室がある人は定期的に行っています 		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症が重症化してきた人が多く、一緒に調理することは難しくなってきたので簡単な作業のみとなっています ・一人ひとりに合わせた食事形態で提供しています ・食器洗い・後片付けなどできることを分担し、自信につなげています 		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	・飲み物は一人ひとり状況に合わせて提供しています ・お酒・煙草をたしなむ人はいません		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	・個別に排泄パターンを把握しトイレ誘導し、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	・希望する時間に入浴できるよう配慮しています ・入浴を拒否する人には時間をおいて言葉かけをしたり、職員を変えてみる等の対応をしています		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	・個々のリズムが違うので、居室やリビングで自由に休息できるようにしています ・自分の意思で休んだりできない人や車椅子の人には、時間を見て臥床してもらっています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	・一人ひとりにあった楽しみを取り入れています ・得意なこと・できそうなことを一緒に行っています ・散歩・日光浴・ドライブ・買い物・町内の行事にも参加しています		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・買い物を希望するときは納得・満足できるよう職員が同行しています ・預かり金の中から買い物をしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・自分ひとりで外出できないのでスタッフが同行して、散歩・買い物・ドライブなどに出かけます		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないうちに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・季節を感じてもらえるようにぶどう狩りや水族館に出かけます ・家族と外食したり買い物したりと自由に外出しています		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	・公衆電話が設置されてます ・希望があればいつでも対応しています ・手紙を書く人には支援しています		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・面会時間は自由で、いつでも気軽に面会してもらっています ・面会の際は居室やリビングでくつろいでもらっています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・積極的に取り組み身体拘束廃止委員会を設けています ・玄関の鍵は夜間～早朝を除き開けられています ・入居者の行動を常に見守り、危険のないように注意しています		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・夜間は20時から玄関の鍵を掛けますが、日中は玄関およびユニット間も鍵をかけず自由に行き来できます		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりがどのように過ごしているか把握しています 特にトイレ・入浴などはプライバシーに配慮しながら安全に支援しています 		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> 刃物・洗剤・薬等は鍵のかかる物品庫に保管しています 		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会・ミーティングで起こりうる事故について学びシュミレーションしています 		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 応急処置のマニュアルを作成しています ミーティング時に緊急時のシュミレーションをしています 		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> 年2回防災訓練を実施しています 入居者・町会の方にも参加してもらい実施しています 		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの身体状況を把握し今後起こりうるリスクについて、家族に説明しています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	・食材は毎日配達してもらう物と、週3回の買い出しで新鮮な物を使用しています ・調理場は都度洗浄し、まな板・布巾・包丁・三角コーナー等は漂白剤で毎日消毒しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	・玄関前は段差なく手すりが設置されています ・花畑や畑を作っています ・親しみやすい表札をかけています		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・廊下・トイレが広いので車椅子でも無理なく動くことができる ・リビングは窓からの光と風を心地よく感じられるように配慮されています ・季節ごとの行事にあわせ飾り付けをし、季節感を取り入れています		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・ソファに座りテレビを観たり、気の合う人同士会話を楽しんでいます		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・居室には本人の使用していた馴染みの家具や布団を持ち込んでいます ・本人の要望で仏壇を置いたり、家族の写真を飾っています		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	・温度計をチェックし過ごしやすい温度にしています ・ロスナイを使用しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない	利用者本人・家族の人に聞き、願いや思いにそった支援をするように努めています
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	午前や午後のおやつの時などにレクリエーションを楽しんだり、一緒にソファに座り雑談などしています
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	一人ひとりのペースに合わせ、日々生活しています
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	職員のやさしい言葉かけや笑顔で接する事で、利用者もとても良い表情を見せてくれます
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	買い物を希望する人には職員が同行しています 意思を伝えるのが困難な人には、日光浴や散歩・ドライブなど外へ出る機会をつくっています
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	法人内の病院医師による健康相談 看護職員による健康管理
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない	一人ひとりの心身状態や思いを把握し支援しています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない	家族とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係が出来るよう努めています
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	週に1回ボランティアで地域の方が詩吟を教えてください

サービスの成果に関する項目		取り組みの成果	
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない 	町会長・民生委員・町内の方など集まる機会は少しずつ増えています
98	職員は、生き生きと働けている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない 	ミーティングやユニット会議で話し合ったり、悩みや不安など皆にう皆で協力しています アンケートをとるなどストレスにならないようにしています
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない 	意思を伝える事が困難な方には満足しているかどうか不安なところもありますが、全ての利用者が安全に安心した生活が送れるよう努めています
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどいない 	家族とは常に連絡を取り合い、利用者が安全に安心した生活を送れるよう努めています

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

2階建てで3ユニットという特徴をいかし、広いホーム内を開放しています。
どのユニットへの出入りも自由で、職員と入居者が皆馴染みになれるよう努めています。
職員・入居者参加でバーベキューやぶどう狩りなどの行事も大勢で楽しく行なっています。